

環境経営の基本方針

環境に配慮した製品の開発・製造・販売を、経営の最重要課題のひとつとして位置づけています。

環境・品質保証担当役員のメッセージ

2014年の世界の年平均気温は、統計が開始された1891年以降で最も高くなりました。1990年代半ば以降は、高温となる年が多く、地球温暖化は確実に進行しているといえます。地球温暖化による気候変動を抑制するには、温室効果ガスの排出量の抜本的かつ継続的な削減が必要です。将来の安全・安心を確保した社会を構築するためにも、地球環境を護り生産活動や商品開発面で環境負荷の低減に取り組むことが、企業に課せられた社会的責任といえます。

このような視点に立ち、当社は、創業の原点であるモノづくりの精神を受け継ぎながら、環境対応技術の開発に積極的に取り組んでいます。例えば大気汚染防止に寄与する水性塗料や粉体塗料、作業従事者の安全性を最優先した重金属フリー塗料、ヒートアイランド現象を緩和させる遮熱塗料（カーボン・オフセット付与）、ライフサイクルコスト（LCC）を低減しながら社会インフラを支える高耐久性ふっ素樹脂塗料などは、お客様より高い評価をいただいています。また、社会インフラや工場など鋼

構造物の維持管理に有効な「DNT塗膜診断システム」を事業化し、鋼構造物の劣化状況や安全性を診断する活動も進めています。

今後も環境方針のもと研究開発・原料調達・生産・流通販売・塗

装を経て廃棄に至るまでのライフサイクル全体を通して環境影響を最小とすることによって、環境と調和した事業活動を推進してまいります。

併せて日本レスポンシブル・ケア協議会（現日本化学工業協会RC委員会）の設立発起人会社として、レスポンシブル・ケア（RC）活動を通じ、「環境・安全・健康」の向上と社会との積極的な対話・コミュニケーションに努め、環境や社会に貢献できる企業活動を進めてまいりますので、よろしくご厚意申し上げます。



取締役専務執行役員
管理本部長
せこ よしのり
瀬古 宜範

環境方針

大日本塗料株式会社は、「環境負荷が小さく持続可能な経済社会を築いていくことが重要である」との認識のもと、地球規模の環境保全活動を継続的かつ着実に推進しながら、塗料及び関連製品の開発・製造・販売を通じ社会に貢献する事を基本とする。活動は、以下の環境方針に基づき全員が一致協力して行う。

- 1 製品の研究開発から生産・販売・サービスを経て廃棄に至るまでのライフサイクル全体に渡り、事業活動から生じる環境への影響を常に的確に評価・把握できる環境マネジメントシステムを確立し、実施し、環境汚染を予防する。
- 2 環境マネジメントシステムを実施、維持し、PDCAサイクルによる継続的改善を図る。
- 3 事業活動、製品及びサービスに係わる環境関連法規制、並びに当社が同意するその他の要求事項を遵守することを約束する。
- 4 環境保全推進のため、次のテーマを重点的に取り組む。これらの活動は、環境方針に基づき、目的・目標を立て計画的に実施すると共に、内容を定期的に見直し、改善する。
 1. 環境負荷低減を可能にする塗料及び関連製品の開発、販売
 2. 揮発性有機化合物の適切な管理と削減
 3. 産業廃棄物の発生抑制とリサイクル促進
 4. 省エネルギー並びに地球温暖化防止活動
- 5 環境方針は文書化し周知徹底すると共に、グループ会社を含めた全従業員（パート、派遣者等を含む）に対し環境教育を行うと共に、当社の事業活動に関与する人も含めて、環境保全に対する理解と意識の向上を図る。
- 6 この環境方針は一般に公開する。